



学校通信

令和7年 4月 7日
東京都立葛飾盲学校長
竹内 大吾
(第1号)

「自分で目標をもつことの大切さ」

校長 竹内 大吾

4月に入ってから寒い日が続いておりましたが、再び春の暖かな陽気と桜に迎えられて、本日から新年度が始まりました。

令和7年度は、明日の入学式で入学する新入生8名を含む幼稚部6名（3学級）、小学部14名（7学級）、中学部9名（5学級）の計29名でスタートします。保護者の皆様方には、お子さまの御進級・御入学を心よりお慶び申し上げます。

なお、保護者の皆様方には別紙にてお知らせいたしましたとおり、教職員につきましては、3月末をもって16名が退職・転出等をし、新たに22名の教職員が着任いたしました。前任の岩下桂郎校長に代わり新たに本校の校長に着任した竹内大吾（たけうち だいご）と申します。他21名の教職員共々よろしくお願いします。

さて、新たな春を迎えた本校の子供たちに対しては、今年一年間、様々な場面で、目標をもって頑張ってみようということを繰り返し伝えていこうと思います。

「人間は、自分の力も自分で試してみないうちには分からない。握力などは一分で試すことができるけども、自分の忍耐力等なんかは、やれるだけやってみないと自分自身にも見当つかない」。これは、夏目漱石が友人に宛てた手紙の中で伝えた言葉です。

子供たちが日々の教育活動に取り組む中で、「明日は、こんなことを知りたいな」、「こんなことができるようになると嬉しいな」という目標を自分でもてるようにしていきたいと思います。もちろん、その目標にたどり着くまでの道のりや進むペースは一人ずつ違っていても良いですし、どんな小さな目標でも良いと思います。大切なのは、少しずつでも前に進んでいきたいと思う気持ちをもってやってみることです。そして、自分で決めた目標を達成できたときに、自分でも気付いていなかった可能性に気づき、成長をしていくのです。

本年度も教職員一同、子供たちの健やかな成長や教育活動全体の充実・改善のために、力を尽くしてまいりますので、引き続き、保護者の皆様方をはじめ、地域の皆様方、関係機関の皆様方には、御支援と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に、夏目漱石の言葉をもう一つ。「あなたが今まく種はやがて、あなたの未来となって現れる」。

「新年度を迎えて」

副校長 近藤 美紀

保護者の皆様、そして幼児・児童・生徒の皆さん、新しい年度が始まりました。今年度も、皆様と一緒に過ごせることを楽しみにしています。

新しい学年、新しいクラス、新しい友達や先生との出会いが待っています。これからの一年間、皆さんがそれぞれの目標に向かってがんばり、楽しい生活を送れるよう、教職員一同全力でサポートします。

保護者の皆様には、引き続き御理解と御協力をお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。